

講義名	スポーツ組織論			授業形態	
担当教員	与那覇 秀勲	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

スポーツ庁は、2019年にスポーツ団体ガバナンスコードを公表し、スポーツ組織におけるガバナンスの確保やコンプライアンス強化の方針を示した。スポーツの普及・振興ならびにスポーツ産業の発展の重要な担い手であるスポーツ組織においては、経営の強靱化や組織運営の透明性の向上が求められている。本授業では、スポーツ組織が有する経営資源（人的資源、物的資源、財務的資源）に関する基礎的な知識を学ぶとともに、組織の目標を達成するためのマネジメント方法を理解することを目的とする。また、スポーツ組織の経営戦略に関して議論およびプレゼンテーションを行うことで、スポーツ組織への理解を更に深める。

到達目標

本授業における到達目標は、以下のとおりである。
 1) スポーツ組織が有する経営資源に関する基礎的な知識を習得できるようになる。
 2) スポーツ組織の目標を達成するためのマネジメント方法を理解できるようになる。
 3) スポーツ組織の経営戦略の立案ができるようになる。

提出課題

各回の授業においてミニレポートをレスポンドで提出する。また、プレゼンテーションと期末レポートを実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各回の授業の始めに、前回授業で提出されたレスポンドの内容に関して講評を行う。

評価の基準

プレゼン（30%）、期末レポート（20%）、小テスト（10%）、ミニレポート・受講態度（40%）

履修にあたっての注意・助言他

遅刻者は、開始後15分以内とし、静かに着席すること。講義中の質問は加点する。授業中の私語は厳禁で、使用を指示しない限り、スマホ使用を禁止とする。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

プリント資料は必要に応じて配布する。

授業計画

- オリエンテーション
- スポーツ組織の種類
- スポーツ競技団体と競技スポーツ団体（NF）の役割
- トップスポーツ組織
- 地域スポーツ組織
- 企業におけるスポーツ組織
- 行政におけるスポーツ組織
- スポーツ組織のマネジメント、小テスト
- スポーツ組織の法人化
- スポーツ団体ガバナンスコード
- スポーツ組織の調査・分析（グループワーク）
- スポーツ組織の経営戦略の立案（プレゼン準備）
- スポーツ組織の経営戦略の立案（プレゼン準備）
- スポーツ組織の経営戦略の立案（プレゼン）
- スポーツ組織の経営戦略の立案（プレゼン）、まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：2時間（シラバスを確認し、インターネットや書籍等で予習を行う。）
 復習：2時間（授業資料に再度目を通し、学んだことの復習を行う。）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業を通して、健康分野の組織論に関する基礎知識を身につけ、健康・スポーツ関連産業の理解を深めることができることから、本学部のディプロマポリシーの達成に大きく貢献できる科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

自身の考えを整理し、アウトプットすることを促進するため、授業中の質問や解答を加点の対象とする。また、レスポンドを活用し、学生の質問や疑問に対する回答を行う。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
 スポーツ組織において13年間従事する中で、多様なスポーツ組織と関わってきた経験を生かし、スポーツ組織のマネジメントに関する実務や経営戦略の立案に関して事例を交えて解説する。

備考